

TOSHIBA

東芝レンジフードファン取付説明書

- 形名 **VFR-64LJPタイプ,VFR-74LJPタイプ,VFR-94LJPタイプ**
- このレンジフードファンの注意事項をよく知っていただき、正しく取り付けていただくために、この取付説明書をよくお読みください。(形名により図が一部異なります。)
 - この取付説明書は工事完了後、お客さまで保管いただくように依頼してください。
 - 別売部品をご利用ください。(詳しくは、カタログをご覧ください。)
 - 記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 日本国内専用品
Use only in Japan

安全上のご注意

- 取り付けの前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しく取り付けてください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重要な内容を記載しています。

表 示	表示の意味
	「取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷（＊１）を負うことが想定される内容」を示します。
	「取り扱いを誤った場合、使用者が軽傷（＊２）を負うことが想定されるか、または物的損害（＊３）の発生が想定される内容」を示します。

＊１:重傷とは、失明やけが、やけど(高温・低温)、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。

＊２:軽傷とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが、やけど、感電などをさします。

＊３:物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害をさします。

図記号	図記号の意味
	○は、禁止（してはいけないこと）を示します。 具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示します。
	●は、指示する行為の強制（必ずすること）を示します。 具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示します。

- 取付工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認するとともに、取扱説明書にそってお客さまに使用方法、お手入れのしかたを説明してください。また、この取付説明書は、取扱説明書と共にお客さまで保管いただくように依頼してください。

警告

	改造はしない 火災・感電・けがの原因になります。		給気口を確実に		煙突排気の燃焼器具がある住宅に据え付けるときは、十分な大きな空気取入口を別につける 排気ガスが室内に逆流し、一酸化炭素中毒を起こす原因になります。
	修理技術者以外の人は分解、修理(※)をしない 火災・感電・けがの原因になります。 ※修理は、お買上げの販売店または東芝エアコン空調換気ご相談センターにご連絡ください。		確実に差し込む		電源プラグは根元まで確実に差し込む 火災・感電の原因になります。
	アースは、確実に取り付ける 故障や漏電したとき、火災・感電の原因になります。アースの取付は、販売店や電気工事店を通じ、電気工事士へ依頼してください。		使用禁止		電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない 火災・感電の原因になります。
	メタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属板張りの木造の造営物に、金属製ダクトが貫通する場合、金属製ダクトとメタルラス、ワイヤラス、金属板とが電氣的に接触しないよう取り付ける 漏電したとき、火災・感電の原因になります。		使用禁止		電源コードを傷つけたり、加工したり、束ねたりしない電線に荷重をかけない 火災・感電の原因になります。
	内釜式風呂を設置した住宅には取り付けない 排気ガスが室内に逆流し、一酸化炭素中毒を起こす原因になります。		電源プラグに力がかからない		包装用ポリ袋は幼児の手の届かない所に廃棄または保管する 頭からかぶるなどすると、口や、鼻をふさぎ窒息する原因になります。
	電源は交流100Vを使う 交流100V以外の電源を使うと、火災・感電の原因になります。		ポリ袋破棄		

注意

	前板・フィルターや部品は絶対に取り付ける 落下により、けがの原因になります。		使用禁止		浴室など湿気の多い場所では絶対に使わない 感電および故障の原因になります。
	強度のある場所に、確実に取り付ける 落下により、けがの原因になります。		接触禁止		運転中は危険ですから羽根の中に指や物を入れない けがの原因になります。
	電気工事・アース工事は、電気工事士(※)が行う 電気工事士以外の人が工事すると、火災・感電・けがの原因になります。 ※電気工事士への依頼は、お買上げの販売店、または電気工事店にご相談ください。		手袋着用		取り付けのときは、手袋を着用する 手袋を着用しないと、けがの原因になります。
			使用禁止		指定以外のランプを使わない ランプカバー周辺が高温になり、やけどの原因になります。 また、火災・感電の原因になります。

お願い

ガスレンジの真上、80cm以上に取り付けてください。
火災予防条例では、80 cm以上が必要です。

周囲温度が40℃以上になる場所、薬品を使う場所には取り付けないでください。
故障の原因になります。

全体換気の必要な所は、他の換気扇との併用をおすすめします。
次のようなダクト工事はしないでください。

(1)極端な曲げ (2)多数回の曲げ

(3)接続ダクト径を極端に小さくする (4)吐出口のすぐそばでの曲げ

効率よく排気させるため空気の取入口を部屋の反対位置に設置してください。

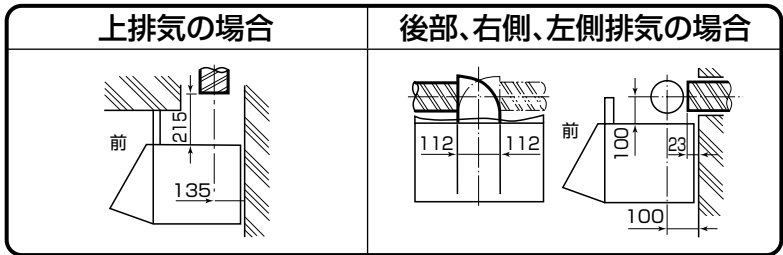
取付工事は手袋をして行ってください。

取付方法

取り付け前の準備

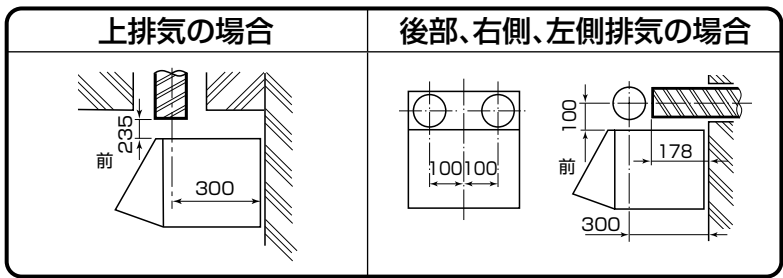
排気方向の選択

- (1) 製品寸法図を参照して、壁穴をあけてください。
- (2) 排気方向が後部、右側、左側の場合は、直角ジョイントRLJ-6(別売部品)をご使用願います。
- (3) ダクト(φ150スパイラルダクト)を下図の位置に配管します。



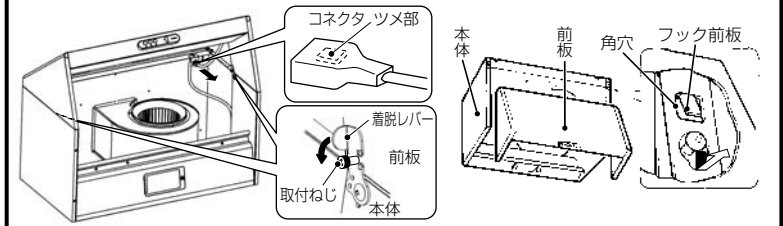
給気方向の選択

- (1) 製品寸法図を参照して、壁穴をあけてください。
- (2) ダクト(φ150スパイラルダクト)を下図の位置に配管します。

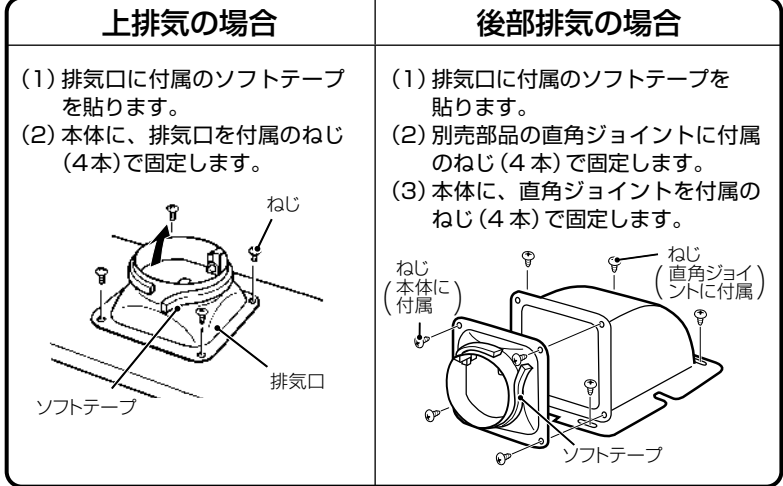


前板のはずし方

- (1) コネクターをはずします。ツメ部を押しながら手前に引きはずします。
- (2) 取付ねじ(左右2ヵ所)を4～5mmもどします。
- (3) 着脱レバー(左右2ヵ所)を後方へ回します。
- (4) 前板を少し下げ、角穴をフックよりはずし、前へ引いてはずします。



排気部品の準備



各部のなまえ

前板 スイッチ 形名表示

幕板 給気ボックス

電源プラグ

コード

本体

安全上の注意ラベル

取っ手 フィルター(グリスフィルター)

安全上の注意ラベル

油受け ランプカバー

シート

ランプ

お願い

ランプカバーに取り付けのシートは取りはずしてご使用ください。

付属品

木ねじ(6本)	ねじ(6本)	ソフトテープ(3本)	側板	蝶ナット(2個)	蝶ボルト(2個)	ねじ(4本)
本体固定用	排気口、側板固定用	排気口、給気口とダクトおよび排気口と側板とのすき間ふさぎ用	側方排気用	給気口固定用	給気ボックス固定用	給気口固定用

アースおよび電源の接続

- (1) 本体天井面のアース端子を使用してアース工事します。
- (2) 電源プラグをコンセントに差し込みます。

給気ボックスの取り付け方

- (1) 給気ダクトの位置にあわせ給気穴を木ハンマーなどであけます。



- (2) 給気口に付属のソフトテープを貼ります。



- (3) 給気ボックスに給気口を付属のねじ(4本)で固定します。

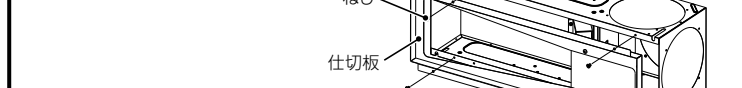


給気口が天井または壁にあたる場合

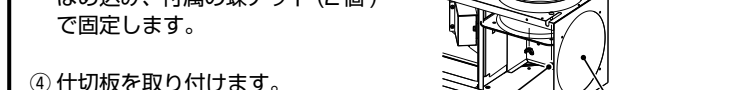
- 下記の手順により、給気口を給気ボックスの内側から取り付けてください。
- ① 給気ボックスに付属のねじ(2本)を固定します。



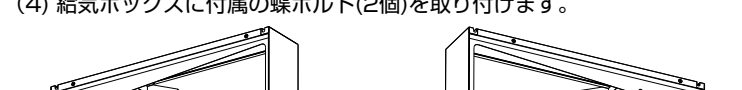
- ② 仕切板をはずします。



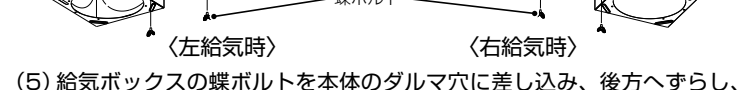
- ③ 給気口を給気ボックスの内側からはめ込み、付属の蝶ナット(2個)で固定します。



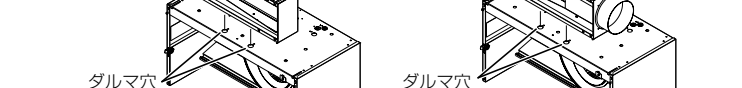
- ④ 仕切板を取り付けます。



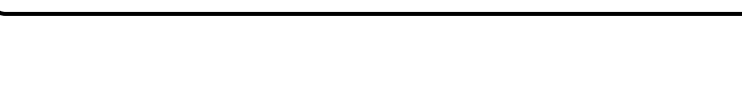
- (4) 給気ボックスに付属の蝶ボルト(2個)を取り付けます。



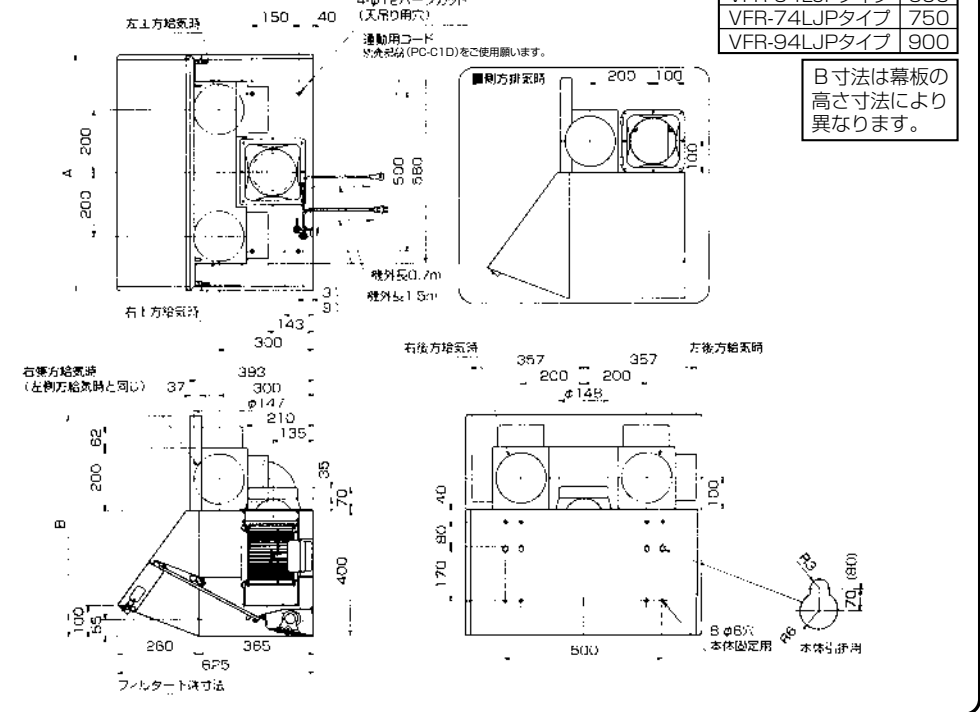
- (5) 給気ボックスの蝶ボルトを本体のダルマ穴に差し込み、後方へずらし、蝶ボルトを締め付けて固定します。



- (6) 給気口と給気ダクトを接続して、市販のアルミテープでテーピングします。



製品寸法図



幕板の取り付け方

- (1) 側方給気の場合は幕板側面のノックアウトを取り除きます。
- (2) 幕板の補強板に固定しているねじ(2本)を2～4mmもどします。
- (3) 幕板を本体前面より差し込みます。
- (4) 本体下部よりドライバーでねじを締めて固定します。



前板の取り付け方

前板のはずし方と逆の順序でおこなってください。

- (1) 前板の上部を本体へ差し込みます。
- (2) 前板を、前へ押し固定します。
- (3) 着脱レバー(左右2ヵ所)を前方に返し、取付ねじを確実に溝に入れます。
- (4) 取付ねじ(左右2ヵ所)をドライバーで締めて固定します。
- (5) コネクターを取り付けます。
- (6) 手元へ、軽く引っ張り、前板が確実に固定されているか確かめます。



グリスフィルターの取り付け方

製品幅でのグリスフィルターの枚数

600mm	750, 900mm

試運転

以上で取り付け完了です。

- 次の点検を行い、異常がないか確認してください。
- 製品の取付強度が十分なこと
 - 運転したとき異常音、異常振動がないこと
 - シャッターの開閉が正常なこと

- 当社の定める施工要領を逸脱しない据付工事に瑕疵が生じ、施工者が無償修理や損害賠償を行った場合、BLマークの証紙の貼付(又は刻印等)がされている部品については、一般財団法人ベターリビングのBL保険制度により、保険金が支給されます。
- 一般財団法人ベターリビングが認定したBLマークの付いた優良住宅部品については、万一当社または設置工事施工者が倒産などしている場合、当社などによる瑕疵保証責任などに代わる措置が同財団から受けられます。
- BL保険制度や当住宅部品の施工要領の詳細については、一般財団法人ベターリビングのホームページ(<http://www.cbl.or.jp/>)や当社のホームページをご覧ください。